

## 研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		廃棄物処理の費用効率性に関する研究			
研究テーマ (欧文) AZ		Estimating the Cost Efficiency of Solid Waste Management Using Panel Data			
研究氏 代表名 者	カナ CC	姓)ウスイ	名)タケヒロ	研究期間 B	2008 ~ 2009 年
	漢字 CB	碓井	健寛	報告年度 YR	2009 年
	ローマ字 CZ	Takehiro	Usui	研究機関名	創価大学
研究代表者 CD 所属機関・職名		経済学部 准教授 碓井健寛			
概要 EA (600 字～800 字程度にまとめてください。)					
<p>本研究はわが国の自治体における一般廃棄物処理システムの費用効率性の改善に資する包括的・定量的な分析を目指している。環境省は本年 6 月に「一般廃棄物会計基準」を発表し、自治体間で統一的なデータ整備を推進することとなった。近い将来「廃棄物会計」が完成すると期待されるが、これまでの自治体廃棄物政策に関する費用効率に関する議論は、依然として明らかでない。そこで本研究は入手可能な公表データである「一般廃棄物処理実態調査」に含まれる廃棄物処理費用、廃棄物収集量とともに、環境省の「容器包装リサイクル法に基づく市町村の分別収集及び再商品化の実績」に加え、新たに人件費・一部事務組合の費用負担に関する調査を独自に実施する。それを基に以下の新たな研究を行い、従来の自治体廃棄物処理政策の総括を行う。</p> <p>研究期間内に、必要なデータ収集と、分析テーマの 1 つである「自治体一般廃棄物と分別費用に関する費用関数推定」について取り組んだ。先行研究には無いパネルデータ分析を行い、自治体の廃棄物費用に影響を与える要因を特定化するというものである。特にこれまでわが国の廃棄物データで得られなかった、容器包装収集の頻度、および、焼却・埋立処分に関する施設保有の費用効率性を明らかにした。推定結果より、自治体廃棄物処理の規模の経済性が確認できた。また自治体が焼却施設を所有することが非所有よりもネットで費用が節約できることが明らかになった。</p>					
キーワード FA	パネルデータ分析	費用構造分析	規模の経済	廃棄物会計	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>	Panel Data Analysis of Incineration and Landfill Cost							
	著者名 <sup>GA</sup>	Takehiro Usui	雑誌名 <sup>GC</sup>	<i>Empirical Economics Letters.</i>					
	ページ <sup>GF</sup>	近刊(後日送付)	発行年 <sup>GE</sup>	2	0	1	1?	巻号 <sup>GD</sup>	forthcoming
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>								
	著者名 <sup>GA</sup>		雑誌名 <sup>GC</sup>						
	ページ <sup>GF</sup>	～	発行年 <sup>GE</sup>					巻号 <sup>GD</sup>	
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>								
	著者名 <sup>GA</sup>		雑誌名 <sup>GC</sup>						
	ページ <sup>GF</sup>	～	発行年 <sup>GE</sup>					巻号 <sup>GD</sup>	
図書	著者名 <sup>HA</sup>								
	書名 <sup>HC</sup>								
	出版者 <sup>HB</sup>		発行年 <sup>HD</sup>					総ページ <sup>HE</sup>	
図書	著者名 <sup>HA</sup>								
	書名 <sup>HC</sup>								
	出版者 <sup>HB</sup>		発行年 <sup>HD</sup>					総ページ <sup>HE</sup>	

欧文概要 EZ

In general, cost structure analysis of municipal solid waste have been performed using only cross-sectional data; however, we use the panel data of waste management cost incurred by municipalities in Japan from 1998 to 2002 in order to test the cost efficiency. The estimation results show that economies of scale is observed in waste management. The estimation results also show that the possession of a self-owning incineration facility is more expensive than not possessing one for which one must pay a fee for using.